

「白い宝石」(西村)

先日、スーパーの魚コーナーで、トレイに盛られた一杯 1500 円超のピカピカに光った京都産白イカが目にとまりました。そういえば、天橋立を巡るテレビ番組で、白い宝石と言われているイカ丼が、とても美味しそうだったことを思い出し、自分で調理するにはハードルが高すぎるので日曜日まで待ち、天橋立へ食べに行ってきました。味は、噛めば噛むほど甘みが広がり、トッピングの卵黄と混ぜるとさらに濃厚な味わいが広がります。湯通ししたゲソは生姜醤油でいただき、一杯のどんぶりで色々な味が楽しめました。調べてみると、海のある京都では、春から秋は高級イカとして名高い「白イカ」と呼ばれる剣先イカ。秋から春はイカの王様と評される「アオリイカ」。真冬には細長く尖った「ヤリイカ」と、1年を通して色々な種類のイカが水揚げされています。これから夏本番。お手頃な「スルメイカ」を買い、屋台風イカ焼きをフライパンで作り、缶ビールのお供に、この夏を乗り切りたいと思っています。



今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【IEA (国際エネルギー機関)】

石油を中心とするエネルギーの安全保障を主な目的とする国際機関。第一次石油危機後の 1974 年 11 月に設立された。OECD加盟国であり、石油備蓄基準（前年の当該国の 1 日当たり石油純輸入量の 90 日分）を満たすことが参加する要件。2022 年のウクライナ情勢を受け、エネルギー市場の安定化に向けて石油備蓄の協調放出の実施を発表した。加盟国である日本も、民間備蓄に加え国家備蓄の放出に踏み切るとしている。

知っとこ! 「税務のマメ知識」

【日本全国どこでも勤務が可能に】

昨今ではリモートワークが導入されるなど、これまでの働き方が大きく変わりつつあります。通勤せずに働けるようになると、会社との距離を考える必要もなく、自分の好きな場所に居を構えることができます。多くの会社では、自宅から通う社員に通勤手当を支給しています。通勤には公共交通機関やマイカーなどを利用するケースが多いでしょう。会社から支給される通勤手当に関しては、所得税では一定額まで非課税となります。公共交通機関を利用する場合には 1 カ月あたり 15 万円まで、マイカーなどの場合には自宅から会社までの通勤距離に応じて最大 31600 円までが非課税となります。そんな中、ヤフー株式会社はリモートワーク制度である「どこでもオフィス」の改定を発表しました。これにより居住地と通勤手段の制限を撤廃し、日本国内であればどこでも勤務が可能となったのです。さらに電車や新幹線、バスのみとしていた通勤手段も、特急列車や飛行機の使用も可能にしました。常識範囲内であれば、ほぼ全ての公共交通機関で出社できるそうです。この制度の対象になるのは全社員に加え、契約社員と嘱託社員を含む約 8000 人。ヤフーは、社員自身が最大限のパフォーマンスを発揮できる環境や場所を選ぶことで、より生産性を高め、さらに創造性を発揮することを期待しているようです。

今を生きる
先人の言葉

夢をかなえるには
全力で欲しが
ること。心の底から
欲しがること。
なりふり構わず徹底的
に欲しがること。

日本のファッションデザイナーである山本寛斎の言葉。夢をかなえるには全力で欲しがること。心の底から欲しがること。なりふり構わず徹底的に欲しがること。

トレンドを斬る!

コロナ禍の非接触対策に有効な自動販売機が進化しています。注文も決済もスマホのアプリから操作・設定した時間にいった

でのコーヒーを受け取るドリンクの自販機や、種類豊富なサラダを冷蔵庫から選んで後払いで決済する野菜の自販機は時短のメリットも喜ばれています。またスキマデパートが展開する「自由販売機」は商材を自由に設定できるため、オリジナルグッズなどの自販機が登場しています。消費者に選択の幅と利便性を提供する自販機の今後に注目です。



365日が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント:【あなたのシゴトはどれですか?】

社員は人材ではなく「人財」です。「最幸」の出会いが「成幸」を引き寄せます。難があるから「有り難う」。辛いときこそ爽やかに笑い、前を向いて「顔晴ろう」。ビジネス本やインターネット上などで、独自の意味を込めた当て字をよく見かけます。こうした当て字を皆さんはどう思いますか?あるアンケートでは約47%の人が「気持ち悪い」と答えていました。気が利いていると感じる人がいる一方、違和感を覚える人も同程度いるようです。確かに度が過ぎると気持ち悪い感じもしますが、当て字はともかく、意味はその通りだと思ったのは「4つのシゴト」です。

シゴトには4つの種類がある。1つ目は、自分自身を押し殺して嫌々働く「死事」。2つ目は、自分のやりたいことだけやって周りのことはどうでもいい「私事」。3つ目は、人に仕えて、その指示に従う「仕事」。お客さまに仕え、会社に仕え、上司に仕え、誰かに仕える働き方を「仕事」というなら、志や信念を持って、自分のためではなく人のために行う仕事が「志事」。「仕事」が進化すると「志事」になるというわけです。単なる言葉遊びと片づけるのは簡単ですが「志事」をもう少し掘り下げてみたいと思います。志や信念を持つとはどういうことでしょうか。それは「覚悟すること」ではないかと考えます。覚悟にはいくつかの意味がありますが、一般的には困難を予想してそれを受け止める心構えを指します。つまり覚悟とは、不安や面倒なことに立ち向かう勇気ではないかと思えます。多くの人は、経験を積むほど体より口のほうがよく動くようになり、理屈や言い訳が増えます。しかし頭で考えているだけでは、何も起こらないのはご存知の通りです。とにかく動く。小さな事でも何かやってみる。まずは試してみる。モノやサービスを売る商売では製品化する前に試作しますが、それと同じ発想で、何でも実験だと思ってプロトタイプング(試す)してみるくらいの軽やかさが、今の時代に必要な能力ではないかと思えます。行動は「幸道」。幸せへの道です。というオチはさておき、覚悟を決めて事を成していきたいものです。



トナリの

本棚



【常識のない喫茶店】

実際に働いた喫茶店での出来事を、ウィットに富んだ語り口で描いた「僕のマリ」の商業デビュー作です。セクハラ、モラハラ、理不尽なクレーム、失礼な客に対する店員たちの闘いの日々。接客業の人もそうでない人も楽しく読める一冊です。

船越税理士事務所

〒620-0054

京都府福知山市末広町1-1-1 中川ビル3階

TEL:0773-22-3708 FAX:0773-22-7343

<http://www.f-office301.com>

E-mail: info@f-office301.com

皆様のご感想をお待ちしております◎◎◎◎◎◎